

まつさか市議会だより

vol.78
2020.1.1

みでんか

マジメで
面白くない
報告ですが...

新年あけましておめでとうございます。
「みでんか」となつて5年目を迎えます。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

松阪市議会議員一同

春
迎

「みでんか」は電子
ブックやPDFでも
ご覧いただけます。



言うてんか! 聞いてんか!

第13回

議会 報告会

初の委員会別開催!



第1部 主な質疑応答

参加者 空家対策で、空家の分類はどの程度進んでいるのか。【建設水道】

議員 危険空家の指定には至っていない。空き家を「そのまま住めるもの」「修理すれば住めるもの」「修理が無理で取り壊すしかないもの」への分類は完了している。

参加者 不法投棄について、投棄されている場所で管轄が違うのでどこに相談したらよいか。【環境福祉】

議員 不法投棄を発見されたらまず環境課に相談してもらいたい。

意見 不法投棄のごみ回収を民間に委託しているとしても、回収の量等の状況を市民に情報提供するべきだ。

参加者 民生児童委員について業務の複雑化で苦労している。待遇改善について市の見解は。【環境福祉】

議員 民生児童委員協議会に支払われる手数料は少なく、各委員のボランティア精神に依存している状態。業務は多岐にわたり、心身ともに大変であることを認識しているが、今年に入りたくさんのご意見を頂くようになり、委員会としても議論をしていきたい。

開催日	開催場所	参加人数
11月13日(水)	建設水道委員会 (産業振興センター)	24
11月14日(木)	環境福祉委員会 (嬉野地域振興局)	29
11月15日(金)	総務企画委員会 (飯高地域振興局)	50
11月16日(土)	文教経済委員会 (松阪公民館)	26
	計	129

参加者 防災行政無線のデジタル化に伴って、個別受信機が取り外されて屋外の拡声器のみになった。より細やかな情報伝達の方法を進めてほしい。【総務企画】

議員 各戸の固定電話から情報を得られる仕組みの構築を進めているところである。

参加者 空き家バンクについて、14件29人というのは、松阪市全体の数字か。飯高管内だけでは何件か。【総務企画】

議員 松阪市全体での数字。飯高管内では8件16人であった。

参加者 放課後児童クラブが補助金制度になり、先生との折衝や事務など負担が大きく、精神的負担も大きい。この負担を軽減するために、社会福祉法人に直接委託してもらいたい。【文教経済】

議員 これから実施されるアンケートも参考にし保護者、企業、他の関係者等、多くの意見を調査していきたい。

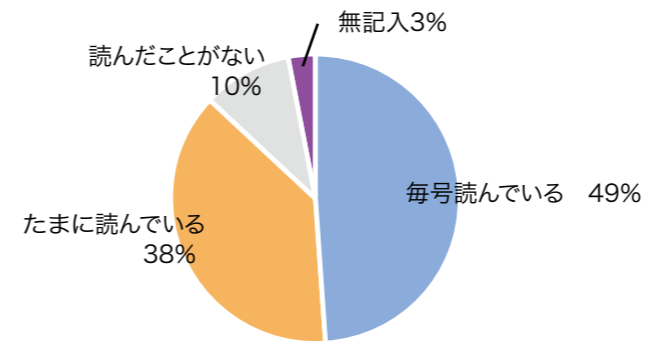
参加者 北部学校給食センターの給食が美味しくないとの声があるが、ふるさと納税などの財源から、市の負担も必要ではないか。【文教経済】

議員 ベルランチは同じ企業であるが、そういった声は聞こえていない。まだ始まって間もなく、その差異もあるかもしれない。委員会で状況を確認し、改善が必要であれば指摘していく。

参加者 北部学校給食センターの給食について生徒たちにもアンケートなど実施してはどうか。【文教経済】

議員 アンケートに関しては、確認し教育委員会に対応するよう伝える。

アンケートでいただいたご意見 (一部抜粋)



▲みてんかを読んだことがあるかのアンケート結果から (参加者129人中106人回答)

建設水道委員会

- 一部公園にして、松阪牛を放牧してほしい。観光客にも喜ばれます。(50代)
- 駅前活性化＝駅ビルなの?そんなこと決まっていますか! (60代)
- にぎわいを作るためにではなく、本当に必要なものを作ってください。平地(公園)でいいと思います。(70代)

環境福祉委員会

- 大先輩と同じテーブルでお話しでき、とても勉強になった。固い雰囲気だと思って、かなり勇気のいる参加だったが、温かい方ばかりで安心した。自分がどのようなことを望んでいるのか改めて考える機会になり、もっと同世代の方も参加してほしい。(30代)
- 色々な地域・世代の方と意見交換できとても良い機会でした。議員さんに直接質問できたのもためになった。もっと子育て世代が参加しやすい工夫や告知があれば良いのではと思った。(30代)
- 若い方の意見が聞けて良い機会。自分の孫に行かせたい。(60代)
- 色々な人の意見を聞くことができ勉強になった。午前中実施も良い。(70代)

総務企画委員会

- 移住希望者には具体的な家探しの方法がわからない人もいます。移住希望者の相談に乗ってあげたい人がサポートできる仕組みを作してほしい。(30代)
- 移住については、場所を選ばない仕事ができるようにインターネット環境や、ネットインフラを充実させて、それをアピールすれば良い。(20代以下)
- 話し合いの時間がもう少し欲しかった。(20代以下)
- 防災無線は、停電の時にも使えるシステムが必要だ。(20代以下)
- 参加者が多く、様々な意見が聞けて良かった。(30代)
- 山の手入れがされていないと土砂災害の原因となる。山林所有者の移転を進める別の仕組みを構築する必要がある。(30代)

文教経済委員会

- ワークショップに参加させていただき、自分自身も市民として主体的に町づくりに参画していかなくてはいけないと思いました。(30代)
- 皆さんの考えを聞かせてもらって、新しい学びができました。ぜひ、今日出た内容を議会で検討していただき、みんなが住みよい松阪市になってほしいと思います。(30代)
- 次回もこのスタイルをお願いします。(50代)
- 子育て世代の方の参加者が少なかったので、残念でした。(30代)
- 短い時間で参加者全員が納得できる議論はむずかしいと私は思います。(70代以上)
- 報告会の仕方が変わって来ているようで、良くなっている、また、参加者が少ないと思うので、参加できる方法を考えてほしい。(60代)

建設水道委員会

～駅西再開発について～

11/13
(水)



「松阪の顔である駅前（駅西）が寂しい」、「松阪駅ににぎわいを」という松阪市の玄関口にふさわしいものとするため、平成31年3月松阪市が作成をした「松阪駅西地区複合施設基本構想（基本理念―気軽に滞在、つながる、まちのにぎわい発信源）」に基づき意見交

換を行いました。

市民の皆さんから、「市民生活の必需品を駅前だけで調達できるようにしてほしい」「駐車場を減らさず、5～10分停車できる場所もほしい」、「財政の裏付けがなければ、夢物語となるので、財政に支障がない程度でしてほしい」、「豪商のまちとして、歴史と文化があり、夢を持って開発に携わってほしい」、「にぎわっている所は“水”を使った安らぎの空間があるので、滞在できるような場所として公園をつくってほしい」など多くの意見をいただきました。

環境福祉委員会

～子育て・孫育て～

11/14
(木)

「松阪の子育て・孫育て」をテーマに、子育て真っ最中の方から、昔、子育てをした人、孫と関わっているという世代の方まで25人（第2部参加人数）の方が参加されました。身近な話題からテーマに興味を持って、発言しやすいワークショップ形式で行いました。

提供した話題は、

- ①松阪で子育てをして良かったと思う事は何か。
- ②あなたの子育て中のストレス解消法は。
- ③あなたの知っていることで松阪にあったらいいものの3つ。

会場には託児所を用意しましたが、生後8カ月の赤ちゃんから小さな子どもも同席していただいて、3グループに分かれ、時間いっぱい会話や意見が途切れることなく活発に話し合い、まとめの発表も行われました。



総務企画委員会

中山間地域の振興 ～地域防災・移住～

11/15
(金)



総務企画委員会は3グループに分かれて、中山間地域の振興について意見交換を行いました。

移住については、自然が素晴らしく、地域の結び付きも良いという移住者からの肯定的な意見が多かった反面、空

き家バンク制度については利用しにくい不十分な点が多く、トラブル防止のために賃貸契約から始めてはとの提案がありました。また、仕事や救急医療、学校に関しての不安が大きいという意見がありました。

地域防災については、防災行政無線のデジタル化により戸外の拡声器だけになったことには不満であるという意見が多くあり、その他、土砂災害の原因になる山の保水力の低下問題、避難所への距離と行程、道路が塞がれることによる孤立状態の想定も不安材料であるという心配の声が多くあがりました。

文教経済委員会

子どもの安全教育

～今日の安心、あしたの元気～

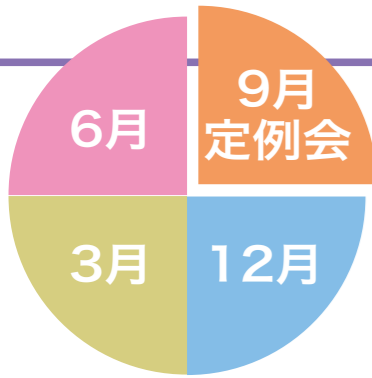
11/16
(土)

昨年9月に松阪市PTA連合会によって行われた「教育座談会」に文教経済委員会の全員で出席し、教育現場における問題・課題の声を直接、伺いました。

その場で多く質問された2つのテーマを本委員会ではワークショップ形式で取り扱うことを決めました。

市民の市政に対する参画意識の向上と、テーマに対する生産性の向上につながると考え、ワークショップでは、2つのテーマにおける問題・課題を聞くだけでなく、対策も市民と議員が一緒に考えるという時間を共有しました。





平成30年度松阪市一般会計および特別会計歳入歳出決算の認定についてなど 27議案を認定・可決・同意・賛成

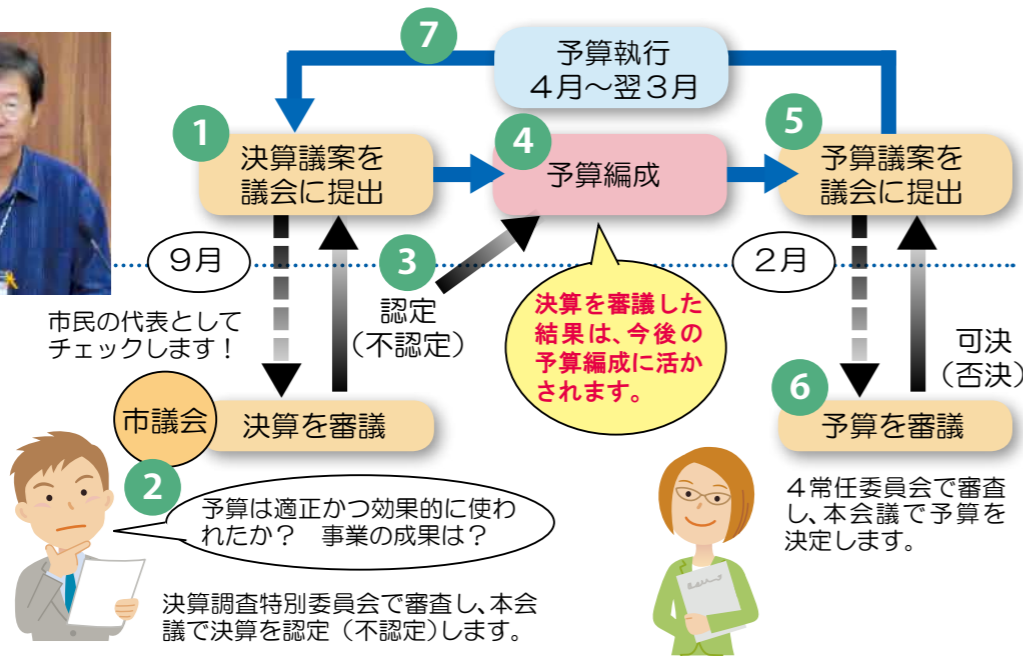
■会期：9月10日（火）から10月30日（水）までの51日間

令和元年9月定例会は、一般会計と8つの特別会計および水道、下水道、市民病院の3つの企業会計の平成30年度決算認定が行われました。

一般質問は10月9日、11日、16日の3日間、18人の議員により行われました。議案27件、請願6件、発議9件、その他2件が討論・採決され、議案および発議は原案どおり可決されました。

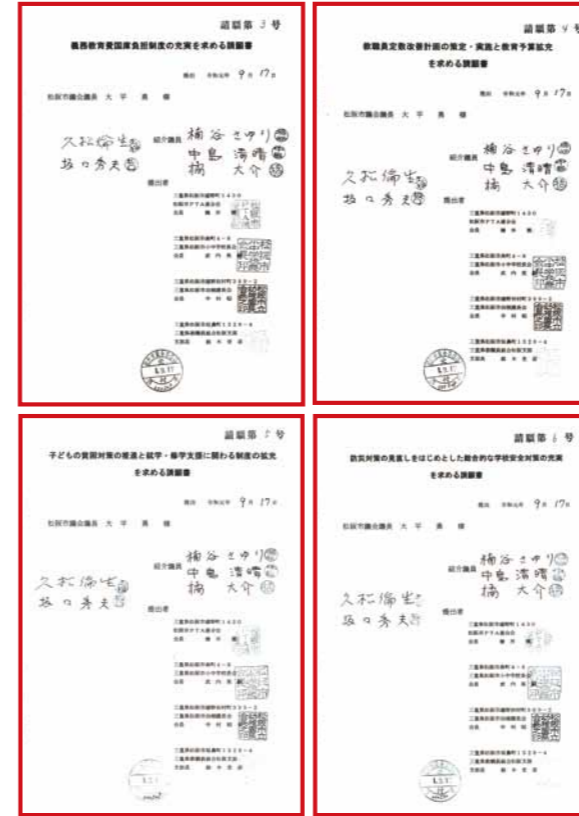
決算を審議し、次年度の予算に活かす！

※①～⑦の順で
予算編成に活かされています。



請願4件を採択、2件を不採択

詳細はホームページ
で掲載中



◀「義務教育費国庫負担制度の充実に求める請願書」など4件を採択

▼「所得税法56条見直しの国への意見を求める請願書」など2件を不採択

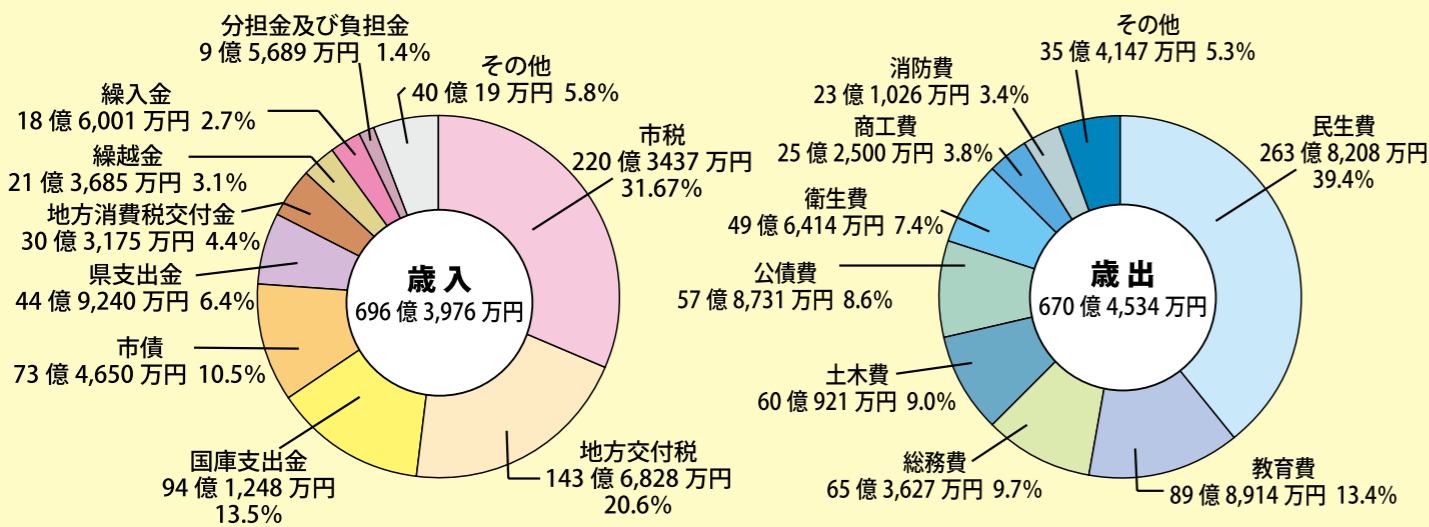


決算 審議

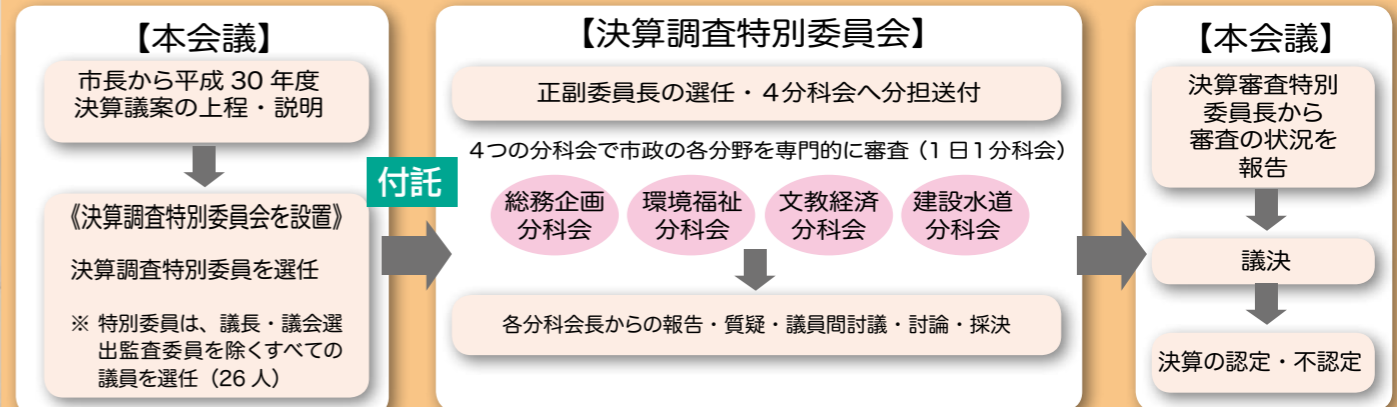
決算審議は9月10日に議案上程を行い、議長、監査委員を除く26人で決算調査特別委員会を構成し、17日に本会議での質疑、18日に総務企画、20日に環境福祉、24日に文教経済、25日に建設水道の4つの分科会を行いました。10月1日に決算調査特別委員会での分科会長報告、討論、採決、3日の本会議で認定・不認定の採決を行いました。

平成30年度決算の審議のスケジュール

一般会計決算収支の概要



決算審議の流れ



平成30年度一般会計の実質単年度収支は5億649万円の黒字。前年度に比べ4,977万円の増となりました。

●一般会計歳入について

- Q** 個人市民税と法人市民税について、調定額における収入済額が前年度から大きく伸びているが、これについての分析は。
- A** 個人市民税については、雇用環境や所得状況の改善、緩やかな景気回復による影響で、給与所得が増加したことに加え、株式譲渡所得が増加となったこと、また、法人市民税については個人消費や設備投資が堅調に推移し、国内経済が緩やかな景気回復を続けたことが要因である。

●公共施設マネジメントについて

- Q** 令和7年までに公共施設の合計延べ床面積を20%削減する目標であるが、段階的な目標として今年度8%削減となっている。しかしながら、現時点で1.92%に留まっているが、削減する目標値と実績数値との乖離について、どのように考えているのか。
- A** 各施設の状況や市民ニーズを踏まえ、市民サービスを低下させることなく削減目標を達成するにはかなり厳しい状況である。各施設の老朽化に合わせ、中長期的な視点で全庁的に公共施設マネジメントを進めていくため、延べ床面積の削減目標だけでなく維持管理経費を含めた総コストで検討していきたい。
- Q** 目標値に無理があるのであれば、上位計画の目標数値を改めることになるのか。
- A** 次期総合計画において見直す方向で考えたい。



●母子保健事業費 子育てアプリ「まっプリ」について

- Q** 予防接種の適切な時期が確認できる等の管理機能、市が取り組む子育てに関する教室や支援等の情報を発信できる機能などを備えた子育てアプリ「まっプリ」の登録者数は。
- A** 平成30年9月から平成31年3月31日までで、777件である。
- Q** 「まっプリ」の周知方法は。
- A** 母子健康手帳交付時、赤ちゃん訪問時、1歳半、3歳半検診時に行っている。
- Q** 幼稚園保育園への周知は。
- A** 保護者への周知については関係する課と協議していく。



●大石地区認定こども園について

- Q** 大石地区認定こども園の進捗状況は。
- A** 大石幼稚園、みなみ保育園について、平成30年9月、平成31年4月に地域と懇談会を行っている。また、移転場所について地域の役員、各園の園長と保護者代表、行政で検討会を開いている状況である。
- Q** 統合して新たに認定こども園をつくるのか。
- A** 両園とも土砂災害警戒区域の急傾斜地や、土石流の網にかかっているところに建っている。移転する場合は災害に強い場所を検討している。



文教経済分科会

●労働費及び財源

Q 潜在専門職トレーニングプロジェクト事業は、平成30年度で事業を完成したが、その総括と評価は。

A 参加者は減少したが、総括すると、看護師12人、介護士11人、保育士15人が復職され、研修会についても、それぞれ関係団体に事業承継もできたことから、非常に意義のある事業であったと捉えている。

●商工費及び財源

Q 地域公共交通システム事業の利用者も一部を除けば利用者が減っているが、運営側としてどう捉えているか。また地域の要望だけでなく、今後の方向性について話し合った実績はあったのか。

A 利用者減少の要因は、人口減少、中山間地域の過疎化などが考えられる。空白地帯の要望は多数あるが、高齢化が進む中、今のやり方では費用だけがかかり、実際の乗客は少なくなる状況である。

議員間討議

問題提起 社会背景、情報発信などの要因が考えられるが、どの事業も参加者が減少していることに対して、意見をいただきたい。

意見 商工観光部門は、行政としても非常に重要な部門であり、事業のマンネリ化から見直しも必要である。

意見 去年行った事業をそのまま継続するという姿勢ではいけない。社会背景も含めた検証を行うべきである。

意見 若者をターゲットにしたイベントも検討した方が良い。

意見 過去からの問題点等の分析が行われていないように感じる。商工観光に文化が組み合わさり多様性が出た。この部分を積極的に活用し、委員の総意と捉え、この委員会で今後調査を行っていきたい。



建設水道分科会

●道路維持修繕事業

Q 地元要望があった修繕等の件数と実施件数及び割合は。

A 建設保全課へ632件あり、そのうち391件を実施、62%の割合であった。

Q 道路維持修繕事業費内の原材料内訳は。

A 257件、3,957万6,557円分を支給した。内訳は、自治会へ支給が14%。市職員の使用が37%。工事、修繕に合わせた支給が49%であった。

Q 用水路にガードパイプを設置する基準は。

A 用水時期に水深が深くなる用水路の横が通学路になっているので危険であると要望を受けた箇所に設置した。

●水道事業

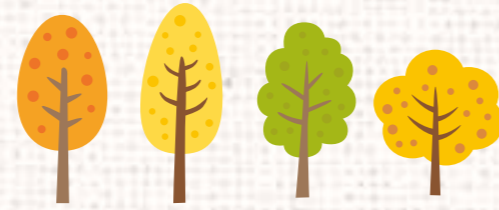
Q 平成30年10月からの隔月検針、隔月請求の導入は、当初にかなりの混乱が見受けられたが、未収金への影響はどうであったか。

A 令和元年8月末での平成30年度の収納率は、99.92%である。平成29年度以前と差がないことから隔月請求の導入による未収金への影響がない。

Q 隔月検針、隔月請求に変更したことによる、経費削減額は。

A 6カ月で約3,200万円の削減となった。





議決結果一覧表

全会一致で認定、可決、賛成、選任、採択された案件

議案番号	案 件
議案第 83号	平成30年度松阪市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 85号	平成30年度松阪市公共下水道事業決算の認定について
議案第 86号	平成30年度松阪市松阪市民病院事業決算の認定について
議案第 87号	松阪市税条例の一部改正について
議案第 89号	令和元年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
議案第 90号	松阪市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
議案第 91号	松阪市都市計画法に基づく開発行為の許可等の基準に関する条例の制定について
議案第 92号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について
議案第 93号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備について
議案第 94号	松阪市手数料条例の一部改正について
議案第 95号	松阪市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
議案第 96号	松阪市印鑑条例の一部改正について
議案第 97号	松阪市水道給水条例の一部改正について
議案第 98号	松阪市と多気町との松阪地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書について
議案第 99号	松阪市と明和町との松阪地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書について
議案第 100号	松阪市と大台町との松阪地域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書について
議案第 101号	財産の取得について(松阪市総合運動公園用地)
議案第 102号	市道路線の認定について
議案第 103号	市道路線の廃止について
議案第 104号	市道路線の変更について
議案第 105号	監査委員の選任について
議案第 106号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 107号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 108号	人権擁護委員候補者の推薦について



議案番号	案 件
発議第 6号	松阪市議会特別委員会の設置について
発議第 7号	松阪市議会委員会条例の一部改正について
発議第 9号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書について
発議第 10号	市議会議員の派遣について
発議第 13号	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書について
発議第 14号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書について
選挙第 12号	松阪市議会特別委員会の委員選任について
選挙第 13号	松阪市議会議会運営委員会の委員(補充)選任について
選挙第 14号	松阪地区広域衛生組合議会の議員(補充)選挙について
選挙第 15号	松阪地区広域消防組合議会の議員(補充)選挙について
請願第 5号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書
請願第 6号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審議結果
議案第 82号	平成30年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
議案第 84号	平成30年度松阪市水道事業決算の認定について	賛成多数 認 定
議案第 88号	令和元年度松阪市一般会計補正予算(第3号)	賛成多数 可 決
発議第 8号	地方財政の充実・強化を求める意見書について	賛成多数 可 決
発議第 11号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書について	賛成多数 可 決
発議第 12号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書について	賛成多数 可 決
請願第 3号	義務教育費国庫負担制度の充実を求める請願書	賛成多数 採 択
請願第 4号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	賛成多数 採 択
請願第 7号	「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書の提出を求める請願	賛成少数 不採択
請願第 8号	所得税法56条見直しの国への意見書を求める請願書	賛成少数 不採択

表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号	真政クラブ					松政会					公明党			日本共産党		市民クラブ			無所属の会・みらい		しなと会			会派に所属しない議員				
	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	山本 芳敬	大平 勇	中村 誠	松本 一孝	谷口 聖	市野 幸男	米倉 芳周	松岡 恒雄	山本 節	西村 友志	殿村 峰代	栗谷建一郎	久松 倫生	橋 大介	楠谷さゆり	中島 清晴	田中 正浩	西口 真理	海住 恒幸	赤塚かおり	深田 龍	植松 泰之	沖 和哉	中村 良子	濱口 高志
議案第 82 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 84 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 88 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 8 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議第 11 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
発議第 12 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
請願第 3 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
請願第 4 号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○
請願第 7 号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
請願第 8 号	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×

議長 大平勇は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員



松政会



なかむら まこと
中村 誠 議員



しなと会



あかつか
赤塚 かおり 議員



入札制度

- Q 災害復旧工事等に対応していただいている業者の方に対して、入札制度で優位性等を設ける制度、メリットも今後必要になってくると思うが。
- A 工事の適正な施工の確保を図るとともに、市内業者の技術力向上や社会貢献へのモチベーションを高めるため、優良工事の施工や工事評定平均点が85点以上、そして過去3年に災害復旧工事を2回受注した業者を入札参加条件として、平成29年7月よりインセンティブ型入札制度を導入している。
- Q ほかの入札、例えば物品であったり、業務委託、役務であったりとか、そういったものの契約について最低価格を設定しているか。
- A 物品に対しては仕様書で定めており仕様書によって品質は確保されているので最低制限は設けていない。
業務委託についても、市のほうで積算できるものについては最低制限価格を設けているが、見積もり等によるものについては最低制限価格を設けていない状況である。

その他の質問事項

- ・小中学校職員における働き方
- ・公共施設マネジメント
- ・市の施設及び設備等の美化

高齢者の安全運転と免許証返納

- Q 自動車運転能力維持向上のために、理学療法士など、体づくりの専門家と連携した健康教室の開催検討は。
- A 専門職の派遣を継続していきたい。
- Q 免許証更新時に高齢者講習など高額な料金が掛かる。運転経歴証明書発行手数料1,100円を補助できないか。
- A 高齢化社会の中で、免許を返納しても交通を確保できるか研究していきたい。

浸水被害ゼロを目指した河川改修

- Q ^{みわたり}三渡川の定期的な^{しゅんせつ}浚渫工事の要望が出ているが、土砂の廃棄場所がないので進まないという状況は。
- A 建設残土の捨て場問題は大きな課題。有効な解決策を県と共に研究し、地域の協力を得て進めていきたい。
- Q 嬉野三雲管内排水機場の停電対策は。
- A 中部電力と協議し、一部の対策工事を済ませている。国の起債事業で小規模排水機場への自家発電装置の設置が見込める。引き続き研究していく。
- Q ^{あかがわ}赤川治水事業促進協議会から国や県に要望があるが市としての考えは。
- A ^{くもす}県から雲出川本川堤防整備後必要であれば、ポンプ施設の必要性も検討していくとの回答がある。市として早期事業化に向けた要望活動に取り組んでいく。
意見 市からの強い意志を示していきたい。

一般質問

令和元年9月 第4回定例会一般質問日程表

とき	登壇者(質問順)
10月9日 (水)	①中村 誠 ②赤塚かおり ③深田 龍 ④橋 大介 ⑤山本 節 ⑥海住 恒幸
10月11日 (金)	①堀端 脩 ②野呂 一男 ③楠谷さゆり ④栗谷建一郎 ⑤坂口 秀夫 ⑥濱口 高志
10月16日 (水)	①久松 倫生 ②殿村 峰代 ③山本 芳敬 ④沖 和哉 ⑤中村 良子 ⑥田中 正浩

10月9日・11日・16日に18人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、ひとりあたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。(別途通信料が発生します)

質問時間は、1人50分。(答弁時間を含む)
◎総括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

しなと会
ふかた りゅう
深田 龍 議員



市民クラブ
たちばな だいすけ
橘 大介 議員



公明党
やまもと たかし
山本 節 議員



無所属の会・みらい
かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員



交通事故を減らすための提案

- Q 約5年ぶりに松阪市交通死亡事故多発非常事態宣言が発令。交通事故発生状況は。
- A 9月末現在、総事故件数3,843件。うち物件事故3,632件、人身事故211件。人身事故のうち死者数が13人、負傷者数が233人となっている。
- Q 見通しの良い交差点で起きやすい事故の要因の一つにコリジョンコース現象というものがある。他市ではポールを設置することで、対策をしているというが、松阪市でもできないか。
- A 視野対策ポールを設置した交差点では交通事故発生が減少したと聞いている。一方で、^{へいそく}閉塞感を感じるものでもあり、警察や地元の方の協力・連携がないとできない。交差点事故の防止を図る手段の一つとして警察と協議する。



▲コリジョンコース現象が起りやすいといわれている見通しのいい交差点

海上アクセス旅客ターミナル跡地利用

- Q 昨年、にっぽん丸が松阪市に初寄港したが、その経緯は。
- A にっぽん丸は三重県内ではこれまで四日市港や鳥羽港に寄港している中で、新しいお客やリピーター対策として、会社のほうがこれらの定番の港以外に新しい寄港地を開拓している。至近距離に観光スポットが豊富にある松阪港が選定された。
- Q 松阪港に直接着岸したわけではなく、多くの方が小型ボートに乗って旅客輸送する姿を見て、やはり不便だなと感じている。港の整備の可能性は。
- A 松阪港は水深が浅いことから、にっぽん丸は接岸ができない。ハード整備に膨大な費用が掛かることが想定されることや、安全上の問題から直接、着岸させることは難しいと考える。
- Q 2019年の鳥羽市での寄港情報によれば、大型クルーズ船が14回入港し、世界最大級クラスの外国客船ダイヤモンド・プリンセスも6回、鳥羽市に入っている。松阪市に来て、松阪牛を食べていただくという考えがあるがどうか。
- A 施設の整備、また観光スポットへのアクセスの確保や整備を維持していくことには一定の費用が掛かる。単純に寄港してという形にはならないと思っている。

高齢者ドライバーをどう支えるか

意見 筑波大学市川教授による2006年から2017年までの追跡調査の結果、運転免許証を自主返納する人と、しない人と比較したときに2.16倍の要介護になりやすいという結果が出された。市川教授は「高齢者への安全運転の支援が必要」とコメントしている。その一助として踏み間違いなり、ドライブレコーダー等の高齢者安全運転支援補助制度の対応をお願いしたい。

みわたり 三渡橋供用開始後の市民の反応

- Q 供用開始後の翌日に接触事故が発生。アーチ形で中央が高い。橋の真ん中あたりに行かないと見通しできない。車道が狭い。ここに至った経過、地域住民と幅員に関して問題にはならなかったのか。
- A 平成10年1月に県より、車道幅員4.5メートルとの回答があった。三渡橋設計は平成19年に完了し、その後、何度か説明会等を開催している。
- Q アーチ型になることで見通しが悪くなるという想定はなかったのか。
- A 橋が盛り上がった形の影響で車両の対向に危険がある状況が出ているが、河川管理上重要なこと。道路標識、反射鏡、路面標示等の対策を検討する。
- 意見 何度か現場調査する中で担当者にも指摘させていただき改善を求めて、問題提起としておく。

いくらかかるか示さない「豪商のまち松阪」

- Q 平成29年に公表された「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画には、「短期・中期・長期」とあり、市長の今回の4年間の任期の中に「中期」が入ってくる。「中期」には、駅西地区における複合施設整備や市役所の分庁舎、産業振興センター、都市計画道路といった大きな事業が軒並み続く。この期間に総額で事業費はどれくらいかかってくるのか、また、その財源を示せ。
- A 不確定要素が多く、この段階でお示しするものはない。財源は公共施設等適正管理推進事業債などがあり、充当率は90%。
- Q 事業だけ決まっただけで、この段階では示すものはないというのは非常に無責任な話。大型事業に取り組むときは、この程度の事業があるのだからこの程度の金額はかかるだろうという想定するものだ。いつになったら言えるのか。
- A 額についてはお示しすることができないということで、わからないということではない。これから実施計画の策定作業に入ってくるので、そういったところから出てくるかもしれない。また、後年度に出てくることもある。
- 意見 松阪市は、これだけ大きな事業を進めるにもかかわらず、いくらかかるのかということは一切示すことはできないということがよく分かった。



真政クラブ
ほりばた おさむ
堀端 脩 議員




真政クラブ
の ろ かずお
野呂 一男 議員




市民クラブ
くすたに
楠谷 さゆり 議員




日本共産党
くりたに けんいちろう
栗谷 建一郎 議員



松阪市と 松阪市社会福祉協議会の関係

- Q 松阪社協が行っている地域福祉は収益を生まない事業である。松阪市としても年間約1億8千万円を補助してきた。この松阪市と社協の関係は。
- A 行政では行き届かない福祉のまちづくりの担い手として重要な使命がある。
- 意見 今回の9月決算で表現されている人的補助金を運営補助金として継続して表現していくと確認した。

マイナンバーカードの申請推進と コミュニティバスへの活用

- Q 津市の取り組みだが、65歳以上の方がシルバーエミカという交通系のICカードを提示する事で、コミュニティバス等が全線無料となる。空車に近い状況で走っているコミュニティバスを活用して、お年寄りの外出・健康と市の経済効果にもつながると思うが。
- A 津市の取り組み事例を含め、適正な利用者負担を考慮し、持続可能な運営を目指し、利用促進策について調査研究を行う。

空家対策事業

- 意見 空家の除去は非常に実績が上がっているが、補助金を貰っても建物を除去するお金が無い方の空家が非常に問題視されている。その対策も考えて頂きたい。

小学校の運動会

- Q 最近の気温上昇のため、都府県においては、多くの小学校が半日運動会に変更されている。松阪市でも児童・教員が元気に活動のできる半日運動会への変更についても考えてみてはどうか。
- A 運動会の意義を大切に、保護者や地域の方々との十分な連携、協議を通して決めていくことが大切であると考えている。

日本の教員 世界一 多忙

- Q 国際教員指導環境調査によると、日本の教員の1週間の仕事時間は、中学校で56時間、小学校で54.4時間と世界一長時間の勤務となっているので、中学校の部活動について教員以外に地域内から競技体験指導者を選任してはどうか。
- A 生徒の競技力向上指導に加え、教員の負担軽減の視点から本事業の充実を図っていきたく考えている。
- Q 小学校では担任が全教科を指導している。最近では、全国的に教科担任制を取り入れている学校が増えている。教科担任制は次の授業準備時間も減るなど勤務時間も減少する。今後、松阪市も教科担任制を進めていく考えはあるのか。
- A 教員の定数改善が十分でない状況では、全ての学校で導入することは非常に難しいが、導入のための研究は、今後も進めていきたく考えている。

松阪市の古文書の収蔵方法

- Q 収蔵庫について、致命的な問題が2つある。1つは収蔵庫の環境。中性紙箱に入れられてはいるが、湿度が高くて、職員が受け皿を1日2度も捨てている。今後どのように保存管理するつもりか。
- A 空調機1台、除湿機2台を使って調整し、湿度は55%~60%に設定している。
- Q もう1つは、収蔵庫のスペースがいっぱいの状況であること。今、展示している資料はどこに保存するのか。
- A 材質に応じた場所を探す。
- Q 市長の文書館を造るという発言は。
- A 旧長谷川治郎兵衛家のことで別物。

食品ロス削減と 防災備蓄食料の活用

- Q もうすぐ期限の切れる非常食の活用は。
- A 消費期限の切れる6カ月以内を目安に管理外とし、防災訓練、防災学習などに活用している。
- Q 買って、その後放出するローテーションの数は今後変わるのか。
- A 購入して4年半後に管理外となるのが2万食となる。
- Q 利用方法について根拠はあるのか。
- A 防災対策課の判断で活用している。
- 意見 防災の方で裁量権があるなら、その一部を貧困家庭を助ける福祉に回す仕組み作りをしてほしい。

子どもの安全

- Q 川崎市で起きた殺傷事件に関しての市の考え方や、新たにとられた対策は。
- A 多くの学校では、警察署と連携し、防犯訓練や不審者からの避難訓練を行っている。学校と地域の方々との協力して防犯対策に取り組む。
- Q 今回の事件では、犯人が2本の包丁を持って、20人を殺傷した。催涙ガスなどを準備しておくべきではないか。
- A 大阪教育大学附属小学校の事件以来、さすまた、防犯スプレーなど配備しているが、今その確認は行っていない。

高齢化社会のもとで 公共交通の拡充を

- Q 上川地域の3つの自治会から、松阪駅から総合運動公園へのバス路線の新設を求める要望書が提出された。これに応えることが必要ではないか。
- A 上川地域だけでなく、市内に点在する公共交通が不便な地域を含めて、これからの市全体の公共交通のあり方について検討していく。
- Q 高齢化社会のもとで誰もが車に乗れなくなる。市の具体的な対策は。
- A 今年設置した超高齢社会対策検討委員会でも公共交通の方向性を検討していく。
- Q この問題解決の体制強化については。
- A これからの松阪市行政のあり方庁内検討委員会で検討していく。



真政クラブ

さかぐち ひでお
坂口 秀夫 議員



竹上市長の2期目に臨む決意と 市政運営

Q 2期目が令和元年10月4日からスタートした。これからの4年間について、松阪市をどのような市にしていきたいのか、その決意と市政運営の具体的なビジョン等、市民福祉の向上と松阪市政の発展につなげる考え方は。

A 1期目同様スピード感を持ち、南三重若者就労支援協議会の事業を6市10町での推進、新たな産業用地の創出、トップセールスによる企業誘致などを実現し、若者定住や雇用創出を進めたい。超高齢社会対策として認知症対策のため、成年後見センターの設置、地域包括ケア実現のための連携対策を図り、全ての世代が住んでよかったと思える元気なまちにしたい。

この4年間で地域に直接出向している回数が1,300回を超え、地域との懇談会も200回を超え、直接、市民から声を聞き、事業に反映してきた。また重要な政策課題は、必ず市民アンケートをとっている。一般にサイレントマジョリティーと呼ばれる大なる市民の意向を把握するようにしていく。市民のニーズを直接把握する機会を設け、さらに誰のため、何のためという初心を忘れず、将来をしっかり見据え、地に足が着いた本当に市民の暮らしを良くする市政運営を誠心誠意努力し、今後4年間市政発展のため市議会の皆様と協力しながら、市民が輝けるよりよい松阪市を作っていく。



会派に所属
しない議員

はまぐち たかし
濱口 高志 議員



消費増税対応

Q キャッシュレス決済でポイント還元されるが、市内業者の導入率は。

A 5月・6月に業者向けの説明会を開催したが、導入率は22.2%。

Q 5%のポイント還元を受けると食品なら実質3%。この制度は6月30日までだが、延期を提言できないか。

A 総務省から継続する方針が出た。ただし、マイナンバーカードを持ち、マイキーIDを取得し、QR決済する仕組みとなる。

意見 マイナンバーカードの普及に一層尽力いただきたい。

三雲・嬉野地域振興局 での確定申告 Part 6

Q 合併時のすり合わせで確定申告の会場を変更する話はあったのか。

A 合併前の体制を継続し、当分は現行どおり対応するとなっていた。

意見 当分の間というのは12年という期間ではなく、状況が著しく変わった場合と理解すべき。

また、体制が整わなくなったとのことだが、合併時より非常勤も合わせた職員数は増えている。税務経験者の再任用職員もいる。たかが1カ月の応援体制が本当に取れないのか。

その他の質問事項
・ 固定資産税（土地）について



日本共産党

ひさまつ みちお
久松 倫生 議員



今日的な災害の特徴と 地域防災計画等

Q 台風15号、19号と被害が相次いだ。被害の特徴と課題をどうとらえるか。

A 大規模災害については多くの課題を残し、全国の自治体に情報共有され、防災対策の教訓とされている。

Q 地域防災計画が今日的な災害時の教訓から十分機能が発揮できるか。

A 台風19号の接近にあたってライフライン企業と協議し対応した。

意見 実態に応じた対応をしていただいている。大きな予算措置を要望する。

文化遺産保存の意義と今後の課題

Q 船形はにわ出土から20年になる。小津安二郎含め、偉人や文化遺産が世界や全国に知られていても市民に知られていない問題を実感する。考えは。

A 郷土の偉人冊子を作成し、多様な実践を行っている。松阪に対する誇りと愛着を持てる郷土教育をこれからも一層推進していく。



▲氏郷の評価を誤らせる「部落史」(右)

意見 「部落史をどう教えるか」という、郷土の氏郷をゆがめるような誤った教育行政は行わないでほしい。



日本共産党

とのむら みねよ
殿村 峰代 議員



地域医療構想と松阪市民病院・ 地域包括ケアシステムはどこへ？

Q 「あり方検討委員会」などの会議の進捗と今後の予定は。

A 今年は6月11日第1回。11月5日の松阪地域医療構想調整会議を見極めた後2~3回で本年度中に提言したい。

Q 期限やペナルティーはあるか。

A 無い。

Q 地域医療構想を進める上で踏まえておくべき視点は。

A 地域ケアシステムの視点を押さえていかなければいけないが、どこの事務所も人材確保に苦慮している状況。

加齢性難聴に対して松阪市の対応

Q 加齢性難聴者は50歳くらいから始まり、65歳から急増し、70歳を超えると2人に1人、全国には約1,655万人もあるが、認知症の最大の危険因子であり生活習慣病やストレスなどが悪化する原因であるため、介護予防・認知症予防に繋がる聴力検査に取り組んでどうか。

A 専門性が高くハードルが高い。

意見 厚労省の新オレンジプランでも難聴が認知症の危険因子となっている。予防策として国会でも補聴器購入助成に前向きな答弁がある。早期から対策をとり、減らされる年金の中で補聴器を購入しにくい高齢者に公的補助があれば生き生きと活躍できる松阪になるのでは。



真政クラブ
やまもと よしひろ
山本 芳敬 議員




会派に所属
しない議員
おき かずや
沖 和哉 議員




会派に所属
しない議員
なかむら よしこ
中村 良子 議員




無所属の会・
みらい
たなか まさひろ
田中 正浩 議員



新学習指導要領実施の ポイントを問う!!

- Q 新学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すとし、一番重要視されていることは、地域社会との共有・連携・協働である。地域との関係性はどのように変わっていくのか。
- A 地域の方々にも学校教育の運営、教育活動の中身にも協力いただき、地域と共有する学校づくりへと進化を図っていく。
- Q 改訂では「生きる力」を育むため「何のために学ぶのか」「何ができるようになるのか」という観点から「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」3つの資質・能力の柱をどのようにして育成していくのか。
- A 研究指定校やモデル校を指定し、研究の視点を焦点化し、共有および課題解決を図っている。

豚コレラ対策を問う!

- Q 松阪市として何の発信もなく危機感が感じられないが、豚コレラをどのように捉えているのか。
- A 養豚農家が2農家、約2,000頭の豚が肥育されている。しっかりと危機感を持って対応している。
- 意見 生産者、消費者に豚肉の風評被害が出ないように万全の体制を強く求める。

子育て1番とイクボス宣言。 もっと男性職員の育休取得を!

- Q 市長の中から子育て支援への比重が薄まってはいないか。
- A 今までの子育て1番を継続し、進化、改革をしていく思いである。
- Q 子どもが1人増えれば普通交付税の基準財政需要額はどれだけ増えるのか。
- A 1年間で約11万円増加する試算。
- Q 三重県の平均年間給与は約480万円。子のいない共働きの夫婦が転入すると、市民税収入はどれだけか。
- A 夫婦2人世帯で常勤のサラリーマンと推計して、合計31万2,400円となる。
- 意見 人が増えれば税収は増える。財源は作れる。子どもを増やしたいのであれば、3人目ではなく1人目のお子さんから多面的な支援をしていただきたい。
- Q 平成28年に市長がイクボス宣言をして以降、松阪市職員の育休はどうか。
- A 女性職員は100%取得している。男性職員は平成26年度に1人のみ、それ以降はゼロ。皆無である。
- Q 乳幼児期に子育てに関わる父親は、子どもにも家庭にも大事である。男性の育休取得を推奨すべきではないか。
- A 公務員職場で男性の育休を率先して取ることで、社会全体に広がると思う。
- 意見 男性が育休を取得しやすい仕組みと声掛けをしていただきたい。

その他の質問事項 ・ 国を想い、まちを愛するひとづくり

難聴者支援

- Q 赤ちゃんの聴覚スクリーニングを問う。
- A 30年度新生児聴覚スクリーニングを94%が受診、5年間の要精検査45件中、人工内耳3件補聴器装着2件である。
- Q 労力と経費が結構掛かる人工内耳装用の子どもへの支援を問う。
- A 2小学校に3人在籍。防音教室設置、ロジャーシステム配布など学習環境を保障し、きめ細かな支援を行っている。
- Q 労力と経費が結構掛かる人工内耳装用の子どもへの支援を問う。
- A 技術の進歩と共に日常生活が送れる可能性が非常に高い。詳細調査をし、何とか支援の方法を考えていきたい。

世帯別水道メーター

- Q 住まいづくりの世帯分離型において、上下水道料金月額約17,000円のメーター1個と2個の差額は46㎡、1年で32,286円となる。メーター数選択ができないと思う方が多い。今後を問う。
- A 給水装置申請は指定給水装置工事事業者を通じていただく。まず工事事業者に向け説明し、市民の相談に乗っていただく。丁寧に説明を行っていく。

水道料金例 (1カ月)		口径13ミリ		2人世帯・4人世帯		単位:円				
使用水量	基本料金	1~10m	11~20m	21~30m	31~60m	消費税10%込み料金	メーター1個	世帯別2個	月差額	年差額
14㎡	400	750	636			1,964		7,255	1,122	14,444
32㎡	400	750	1,590	1,680		5,291				
46㎡	400	750	1,590	1,680	3,120	8,294	8,294			

下水道料金例 (1カ月)		口径13ミリ		2人世帯・4人世帯		単位:円				
使用水量	基本料金	1~10m	11~20m	21~30m	31~60m	消費税10%込み料金	メーター1個	世帯別2個	月差額	年差額
14㎡	630	350	740			1,892		7,766	1,650	19,800
32㎡	630	350	1,850	460		5,874				
46㎡	630	350	1,850	2,050	3,680	9,416	9,416			

▲従量料金(通増制)を計算

中川コミュニティセンターの エアコン工事

- Q 中川コミュニティセンターはガスエアコンを平成13年2月に設置しているがなぜ今までメンテをしてくれなかったか。
- A 竣工時、冷媒として使用するガスのフロン類の排出に関する規制法において、定期点検の義務づけがなかったため。
- 意見 ガスエアコンは、エンジンオイルとか点火プラグ、エアクリナー、オイルフィルター、ベルト類がエンジンとコンプレッサーをつないでいるから必ず交換が必要。
- Q 平成29年3月1日4万3,200円、その1週間前に同じところを1万9,400円で工事している。この2枚の請求書についてどのように考えているか。
- A 17年ほどの期間がたったきたエアコンの中で不具合が連続して発生した時に早期対応を行った。
- Q 自分の家のリビングのエアコンが壊れたとする。メーカーが来て修理したが、1週間後にまた壊れ、また支払うのか。
- A 利用者に不便をかけないように空調の不具合等については、早期対応し、2回にわたり修繕費の支出を行った。
- 意見 この請求書の内容には室外機修繕とかエアコン調整と書いてあるだけ。何をやったか請求書であっても絶対に書くべきである。



令和2年2月定例会の開催日程

37日間

日	月	火	水	木	金	土
2月9日	10 議会運営 委員会	11	12	13 予算説明会	14 予算説明会	15
16	17 本会議 (当初上程)	18	19	20	21	22
23	24	25 本会議 (代表質問)	26	27本会議 (代表質問) 議会運営委員会	28	29
3月1日	2 本会議 (代表質問)	3	4	5本会議 (代表質問) (補正上程)	6	7
8	9 本会議 (代表質問)	10 本会議 (議案質疑)	11委員会 (環境福祉) (文教経済)	12委員会 (総務企画) (建設水道)	13委員会 (予備日)	14
15	16 委員会 (予備日)	17	18	19	20	21
22	23	24本会議 (当初・ 補正議決)	25	26	27	28

お知らせ

新監査委員着任

10月4日から市議会選出の監査委員の任期満了に伴い、米倉芳周よねくらよしちか議員が着任しました。



広報広聴委員



〔左から〕 山本節、田中正浩、殿村峰代、松本一孝、堀端脩(委員長)、松岡恒雄(副委員長)、楠谷さゆり、赤塚かおり、大平勇

表紙の撮影場所



松阪市総合運動公園スケートパークは、同公園内に県内初の公共スケートパークとして、平成31年4月にオープンしました。
初心者から上級者まで楽しめるパークとなっていますので、ぜひご来園ください。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
松阪市議会だより「みてんか」第78号を、令和になって最初の新年号として発行させていただきます。
昨年の、第13回議会報告会では進め方を変え、市民の皆さんの参加型形式を取り入れ、参加者の方の満足度も上がった様に思います。

今年も広報広聴委員会発行の、「みてんか」をご覧になり、議会報告会にも是非ご参加くださるようお願いして、ご挨拶とさせていただきます。



広報広聴委員会 委員長 堀端 脩

